

手相

表の方を見、右新道心の格子の元に居しを見て、さてく不思議なる事哉、此方へ入給へと、右同心の様子を微細に見て、御身は去年の冬、我等相を見けるが、當夏までにはかならず死し給はんと云し人也、命めでたく來り給ふ事、我が相學の違ならんか、内へ入給へと座敷へ伴ひ、天眼鏡にうつし得と考、去年見しにさして違ふことなきが、御身は人の命か、又もの、命を助け給へる事有べし、具に語り給へと云ければ、主従大に驚き、兩國にて女を助しこと、夫よりの始終、くわしく語ければ、全右の慈心が相を改候也、此上命恙なしと、横手を打て感心しける、主人も大によろこび、右手代還俗させ、越後へ送りし女をもらひ、夫婦となし、今まのあたり榮へ暮しけると也、

〔中右記〕元永元年八月七日、今夕前雜色源實俊來云々、此次予問云、明年五〇〇宿曜、勘文云、壽限也、如何實俊答云、聞言談聲、已六十四五以後也、明年強不可有歟、又欲見手足者、令見左右手足之處、答云、先〇此官〇厥終事、全不可候、今又可昇進也、以之推之、及六十四五後、可有命恐、〇〇聞此事、可悅思也、件實俊自本相人也、天下衆人、皆信受云々、予又問云、關白殿、今年御慎重者如何、答云、自本年來候、彼殿能々奉見之處、貴相第一也、御壽命餘六十給之後、可有恐歟、同此事、心中所欣悅也、件二ヶ條、依爲大事、所問尋也、

〔神相全編正義下〕論手

夫手者、其用所以執持、其情所以取捨也、故纖長者、性慈而好施、短厚者、性鄙而好取、手垂過膝者、蓋世英賢、手不過腰者、一生貧賤、身小而手大者、福祿、身大而手小者、清貧、手薄削者、貧、手端厚者、富、手粗硬者、下賤、手軟細者、清貴、手香煖者、榮華、手臭汚者、獨下、指纖而長者、聰儻、指短而窄者、愚賤、指柔而密者、蓄積、指硬而疎者、破財、指如春笋者、清貴、指如鼓槌者、愚頑、指圓如剝葱者、食祿、指粗如竹節者、貧賤、手薄硬而如雞足者、無智而貧、手握強如豬蹄者、愚鹵而賤、手軟滑如錦囊者、至富、手皮連如鷺足者、至貴、掌長而厚者、貴、掌短而薄者、賤、掌硬而圓者、愚、掌軟而方者、福、四畔豐起而中窪者、富有、